

# 西大和つうしん

2017年9月号  
No.423



阿弥陀岳と赤岳（右）を望む <八ヶ岳縦走にて 2017年8月10日>

奈良県勤労者山岳連盟

## 西大和山の会

# 西大和つうしん

第423号（2017年9月号）

## 【目次】

9月度山行計画	1
10月度山行計画	2
9・10月度カレンダー	3
山行・行事等参加メモ	4
山行報告	
・自主山行 《7/26-29》 北アルプス 白馬岳～雪倉岳～朝日岳（石田）	5
・例会山行 《8/6》 京都北山 雲取山（船江）	7
・自主山行 《8/9-12》 八ヶ岳縦走 八ヶ岳縦走（林・橋本・中）	8

## 9 月 度 山 行 計 画

～遭難者捜索の訓練を通じて、事故を未然に防ぐ技術を学びましょう～  
例会山行2 **奈良県連救助隊主催・広域捜索訓練**

実施フィールド：台高の山 **三峰山一帯**

【日 程】9月3日（日）（L 藤本）

【集 合】（西大和会員）上牧役場前駐車場 7:30 出発

（全体集合） みつえ青少年旅行村・第二駐車場 10:00

- 道迷いによる遭難が発生したと仮定して、遭難者を発見するシミュレーションを行います。地図読みやルートファインディングの知識をいかに活用するかがポイント。与えられた条件をもとに、登山道の形態や周りの地形から、誤って迷い込みやすい場所を想定して捜索をします。この経験を活かせば、自ずと道迷いを防ぐ手法が身につくはずで
- 参加者は8月27日（日）の室内例会にて募集します。皆様の積極的なご参加を期待しています。

～変化に富む岩峰と滝の修験の山へ～

例会山行1 兵庫の山 《雪彦山》 915m

【日 程】 9月10日(日) (L船江)

【集 合】 上牧役場前駐車場 6:00 出発

【コース】 登山口～(1h10)～出雲岩～(40)～大天井岳～(55)～雪彦山～(25)～鉾立山～(1h10)～虹ヶ滝～(40)～登山口

※歩行時間：約5時間

※下山後、雪彦温泉で入浴予定

～ハヶ岳の主峰・赤岳の展望を楽しみましょう。昨年のリベンジだ！～

例会山行2 (テント山行) ハヶ岳 《赤 岳》 2,899m

【日 程】 9月23日(土)～24日(日) (L亀高)

【集 合】 9月23日 王寺駅南口 5:00 出発

【交 通】 王寺駅⇒香芝IC⇒(名阪道・中央道)⇒諏訪南IC⇒美濃戸

【コース】

《24日》美濃戸口～(1h30)～美濃戸～(2h30)～行者小屋(テント場泊)

《25日》行者小屋～(地蔵尾根 1h30)～地蔵の頭～(1h)～赤岳～(文三郎尾根 1h30)～行者小屋(テント撤収)～(2h)～美濃戸～(1h)～美濃戸口

【歩行時間】 24日：4時間、25日：7時間

※帰宅予定：王寺駅(22:00～23:00頃)

※帰路入浴と夕食を予定

9月度夏山自主山行

9月3～6日 L島崎 西穂高岳～ジャンダルム～奥穂高岳／北アルプス

**10 月 度 山 行 計 画**

～剣豪の里、柳生街道を歩きましょう～

例会山行1 柳生街道 《剣豪の里 滝坂の道》

【日 程】 10月1日(日) (L村田)

【集 合】 JR奈良駅バス16番のりば 8:11 ⇒ 近鉄奈良駅バス4番のりば 8:19  
石内(梅の郷)行に乗車 ⇒ 「大柳生」下車

【コース】 柳生バス停～家老屋敷～芳徳寺～南明寺～忍辱山～滝坂の道(地獄谷)～近鉄奈良駅

※歩行時間：約6時間 歩行距離：21km

※いにしえに思いを寄せ 里山をゆったり歩きましょう。

当初予定していました奥高野の“清水ヶ峰”は平成23年・26年の台風により、登山口の教育大の研究施設及び橋が、崩壊・流失しており、復旧されていません。目下は入山規制です。行き先を変更します。

# 西大和山の会 カレンダー

9月			10月		
1	金		1	日	例会山行1《柳生街道》(村田)
2	土		2	月	
3	日	例会山行2《県連・広域搜索訓練》	3	火	県連・理事会
4	月		4	水	
5	火		5	木	
6	水		6	金	教育講座 第2回座学(藤本)
7	木	県連のあり方検討会第2回	7	土	
8	金		8	日	
9	土	県連・理事会	9	月	
10	日	例会山行1 雪彦山(船江)	10	火	
11	月		11	水	
12	火		12	木	
13	水		13	金	
14	木		14	土	教育山行《テント泊》(藤本)
15	金		15	日	
16	土	運営委員会	16	月	
17	日		17	火	
18	月		18	水	西大和つうしん原稿締切
19	火		19	木	
20	水	西大和つうしん原稿締切	20	金	
21	木		21	土	
22	金		22	日	
23	土	例会山行2 テント山行《赤岳》(亀高)	23	月	
24	日		24	火	
25	月		25	水	10月度・室内例会
26	火		26	木	
27	水	9月度・室内例会	27	金	
28	木		28	土	
29	金		29	日	例会山行2 交流山行《小野アルプス》(杉森)
30	土		30	月	
			31	火	

## 山行・行事等参加メモ

No	氏名 (入会順)	8/27	9/3 例会2	9/10 例会1	9/23-24 例会2	10/1 例会1	教育(テント泊)		
		室内 例会	捜索 訓練	雪彦山	テント 赤岳	柳生 の里	10/6 座学	10/14-15 実技	
1	(窪田)								
2	都築								
3	藤井								
4	(石田)								
5	田中悦								
6	島崎								
7	田中初								
8	村田					LO			
9	林								
10	辻								
11	勝尾								
12	藤本		LO				講師		
13	杉村								
14	高橋								
15	玉越								
16	阪口								
17	橋本								
18	今井								
19	亀高				LO◎				
20	船江			LO					
21	野路								
22	中								
23	杉森								
24	上田								
25	永井								
26	川田								
27	高岡								
	合計								
	緊急 連絡先								

L:リーダー、○:参加、◎:車

※室内例会時点での参加予定であり、その後変更されることがあります。

# 山行報告

## 自主山行

### 北アルプスお花見山行 白馬岳～雪倉岳～朝日岳

【日 程】7月26日(水)～29日(土)

【参加者】L 辻・SL 島崎・石田(3名)

#### 7月27日(金)

【コースタイム】蓮華温泉(5:55)～天狗ノ庭(7:58/8:05)～白馬大池(9:49/10:07)～船越ノ頭(11:08)～小蓮華山(12:20/12:27)～三国境(13:14/13:21)～白馬岳(14:13/14:30)～白馬山荘(14:45)

北陸はまだ梅雨が明けていないが、空梅雨気味で前夜は満天の星空。2月にスキーで左ひざを故障して大いに不安があったが、一年ぶりの登山。案の定、蓮華の森を過ぎた辺りから、息はきれるし、ひざは大丈夫だったが天狗の庭でついに両足がつってしまった。なんとか白馬大池にたどりついたものの、「登れるん？」という表情の男性陣。息と足をなだめつつ、小蓮華への長～い稜線を這い登る。ガスがでてきて、景色も見えなくなってきた。が、途中、白馬の山頂が一瞬見えたり、ライチョウがいたり、コマクサなどの群落があたりで結構楽しめた。三国境から山頂までは、いくつものピークにうんざり、山頂でもガスで展望がほとんどない。白馬山荘に到着してしばらくして雨が降り始めてきた。



#### 7月28日(土)

【コースタイム】白馬山荘(6:00)～白馬岳(6:20)～三国境(6:50/6:55)～雪倉岳避難小屋(8:47/9:00)～雪倉岳(9:42/10:26)～水平道分岐(13:07/13:14)～朝日岳(14:35/14:44)～朝日小屋(15:33)

昨夜来の雨の中出発。山頂から三国境へとコマクサの群落を横目に黙々とすすむ。三国境から下方の黒部側に雪原が広がっているのがみえた。鉢が岳の巻き道に入ると、雪溪のトラバースが5か所ほどあって、アイゼンを使う。最後に大きな雪溪を上り詰めたら、ほどなくして雪倉避難小屋。トイレもあって快適そうだったが、靴を脱ぐのが面倒なので、雨もやみはじめていたので小屋の外で小休止。小屋から雪倉岳山頂までは、様々な花で彩られて登りがあまり苦にならなかった。むしろ、山頂を過ぎてからのガウ場の下降は、長く感じられた。赤男山は巻き道だが、ツバメ

岩の岩峰は見上げると圧巻。水場を過ぎると雪がとけたばかりで水芭蕉やハクサンコザクラ、キヌガサソウなどが咲く小桜が原、湿地帯の連続。残雪が多くて水平道は通行止め、朝日岳経由で朝日小屋へ向かうが、疲れ果ててお花を楽しむゆとりがまったくなくなっていた。でも朝日小屋ではたたみの個室でゆったりとくつろぐことができた。



## 7月29日(日)

【コース】朝日小屋(5:37)～朝日岳(6:40/6:46)～吹上のコル(7:15/7:19)～花園三角点(9:37)～白高地沢(10:47/11:07)～兵馬ノ平(12:55)～蓮華温泉(13:55)

朝食後、雨は降っていないもののガスの中、朝日小屋管理人の清水ゆかりさんの見送りを受けて出発。前日長く感じた道も難なく朝日岳山頂へ、山頂からの下降はやはりお花畑の中。春と夏、秋の花が同居していた。吹上のコルからは、残雪が多くアイゼンを何回か使用する。本来なら見ごろを迎えているはずのアヤメなども全く咲いていない。五輪の森を過ぎて尾根の稜線に出た辺りから咲いている花が見られる。しかし、花園三角点ぐらいで雨が降り出し、カモシカ坂を慎重に下りながら先を急ぐ。急坂を下り切った所が白高地沢、立派な橋が架かっている。白高地沢からは樹林の中の Up Down を繰り返して瀬戸川へ、以前は針金3本の渡しだったのが鉄筋の橋にたてかえられている。渡り終わると兵馬の平までの急坂の上り返し、ペースをゆっくりとって意外と簡単に登りきる。兵馬の平では自然観察会が行われていたり、休むところがない。仕方なく、先へ進むが木道はどんどん登り道、休みたいと思いつつ、結局 蓮華温泉までできてしまった。温泉で汗を流して現地解散、お疲れ様でした！

(記：石田千栄子)



## 例会山行1

# 京都北山 雲取山 911m

【日 程】8月6日(日) 晴れ

【参加者】L勝尾・SL藤井・杉村・亀高・船江・永井(6名)

【コース】花背高原前(8:50)～寺山峠(9:34)～一の谷出合(9:50)～雲取峠(10:20)～雲取山(10:44)～二の谷出合(12:03)～一の谷出合(12:39)～寺山峠(12:48)～花背高原前(13:30)

関西百名山の一つ、京都で最も奥深い場所にある花背地区に雲取山はある。のろのろ台風5号の動きを気にしつつ、ヒル出るやろなあ〜と覚悟しつつの山行。

花背スキー場跡を左に見ながら登り口。すぐに4の数字標識。雲囲気の良い雲取小屋を通り過ぎ、40分ほどで寺山峠に着く。意外にも、警戒していたはずのヒルがいないね!とホッと

とする。木陰が多く涼しい風が吹く峠で小休止をとる。

一の谷出合からは沢沿いを行き、その先は登りになったがすぐに広く明るい雲



登山前の寺山峠

取山山頂に着いた。山頂はハエやアブが多く、始終手で払いよけながらの昼食をとる。下山は二ノ谷への計画だが、なぜか標識は三ノ谷しか標されておらず、ルートファインディングしながらの下山だった。二ノ谷への下山道は、シダや笹に覆われた急坂で結構荒れていた。その後、道は沢沿いになり、立命ワングル小屋までは自然林の森がとても美しい。二ノ谷出合の標識を見つけた時には、この道で間違いなかったこと



シダに覆われた登山道を下る

に安堵した。その後は数えきれない渡渉の繰り返しだった。どれも浅い沢ばかりで水量も少なく、森の緑のなかを清流の透明さに癒されながら、楽しく渡渉できた。もし雨季で水量が多ければ、百はあるかと思う渡渉の連続に、緊張でへとへとになっていただろう。

寺山峠まで戻り、ホッとした時になんとヒルがFさんの手に吸い付いていた!やはり京都北山、ヒルには注意!の山である。

帰路、観光客で賑わう鞍馬寺を横目に鞍馬温泉に立ち寄りさっぱりする。LのKさん、遠路運転のKさん・Nさん、ありがとうございました。

(記: 船江照代)



登山後の寺山峠



## 自主山行 ハケ岳縦走

編笠山 2523m・権現岳 2715m・赤岳 2899m・横岳 2829m

硫黄岳 2760m・根石岳 2603m・東天狗岳 2645m・丸山 2329m

【日 程】8月9日(水)～12日(土)

【参加者】L島崎・SL野路・林・橋本・中(5名)

### 8月9日(水) 晴れ時々曇り 編笠山(歩行時間5時間)

【コース】佐味田川駅(4:00)⇒観音平登山口(10:25)～推手川分岐(12:15/40)～編笠山(14:20)～乙女平・青年小屋(15:30)

今回は日程を変えて、迷走台風5号をやり過ごしての出発となりました。今日は、登山口(1,640m)から編笠山(2,523m)に登り、泊りの青年小屋(2,380m)までのコース。駐車場からの登山道は樹林帯の中の林道を尾根伝いに登って約2時間歩き、押手川の谷筋に入る辺りからは湿気が多く、登山道は大きなゴロタ石が露出していて、その上を乗り越えての登りとなり、汗だくでの登りとなりました。時々シラビソの樹林帯が開けて、下に広がるリゾート地や、北に三ツ頭の稜線や権現岳が眺望できて、息を整えながらゆっくりと登って行くと、途中の押手川分岐から編笠山までは傾斜のきつい急登となった。



山頂では、子供連れのハイカーや、日帰り登山を楽しむグループが多く、北へ縦走する者は少ない。山頂から明日のコース、権現岳までの縦走する尾根を雲の間に眺望しながら、下の乙女平・青年小屋に全員無事到着する。小屋では飲み水は貴重品でもらえず、片道5分の沢まで明日の飲み水を汲みに往復する。

(記：林弘文)

### 8月10日(木) 晴れのち曇り 権現岳～赤岳(歩行時間6.5時間)

【コース】青年小屋(6:20)～権現岳(8:16)～キレット小屋 2.780m (10:10/10:30)～付近にて昼食(12:05/20)～赤岳頂上(13:05/13:35)～赤岳展望荘(14:10)

今日は権現岳～ハケ岳主峰赤岳迄の行程。青空のもとなだらかな山容の編笠山を背に登りだす。歩きやすい道を徐々に登っていくと標高2,530m「のろし場」という場所に出る。ここからは稜線歩きとなり展望よく最初に目指す権現岳が見える。富士山、南・北アルプスの山々もよく見え、暫く山座同定を楽しむ。特



に槍ヶ岳から穂高連峰ははっきり見ることができ感動！稜線からは岩場、クサリ場となりガレ場の道も多くとても歩きにくい。権現岳小屋を経て権現岳に着くと赤岳に続く登山道がはっきり眺めることができる。「厳しそう」メンバー同気持を引き締める。垂直に架かっているように見える60段程の鉄階段を下った後は、厳しい岩場のアップダウン、鎖のついたトラバースを幾度も繰り返して赤岳頂上に辿り着く。「やった到着！」でも残念ながらガスが出て展望なし……。想像以上に厳しい岩場を慎重に慎重に歩いてきたのだからゆっくり一休み。その後赤岳展望荘へと下るが、この登山道も滑りやすいザレ場。



設置されているクサリを持たないととても歩けない。登ってこられる人と譲り合いながら下った。宿では五右衛門風呂に入り汗を流しすっきりした後、皆で乾杯！！二日目無事終了。

#### ★赤岳展望荘のシステム

食事はバイキング形式。宿泊手続きを済ますと1人1ヶの紙コップを貰う（その場で名前を明記するよう指示される）。食事の際にはそのコップを持参しなければいけないので各自しっかり管理する。宿に設置されているコーヒー、お茶はいつでも自由に飲めるので、翌日の朝コーヒーを水筒に入れて出発した。水の乏しい高山でこのようなシステム、またお風呂（シャワー付き）にも入れることが出来、非常にありがたかった。（記：橋本紀子）

### 8月10日（木）曇り・霧 赤岳展望荘～夏草峠（歩行時間10時間）

【コース】赤岳展望荘(6:00)～三又峰(7:05)～横岳(7:25)～硫黄岳(9:00)～夏沢峠(10:00)～箕冠山(11:05)～根石岳(11:20/45)～東天狗(12:20)～中山峠(13:45)～高見石小屋(16:00)～麦草峠(17:10/30)

3日目は、濃い霧の中を出発しました。横岳を少し下ると、かなりの広いコマクサの群落は見ものでした。中山峠からの下りはドロドロで滑りやすく木の根、ゴロゴロとまるい石だらけの沢筋で、慎重に長い時間をかけて麦草ヒュッテに到着。東天狗の手前で雲が切れ、一瞬だけ稜線が見えましたが、全体的に展望はほとんどなく足元のチシマキキョウ、ヤマハハコ、コケモモの花と実などなどの花々に励まされながら登攀、梯子の上り下りを繰り返してのピークハントでした。



（記：中昌子）

# 西大和つうしん

第423号（2017年9月号）

2017年8月27日発行

発行責任者 島崎 隆

編集責任者 亀高 茂

奈良県勤労者山岳連盟 西大和山の会  
〒636-0003 奈良県北葛城郡王寺町久度 1-9-32  
窪田友男方

TEL・FAX 0745-72-2876

<http://www.nishiyamatoyama.com/>